

(取得者のうち) 育休取得期間が5日以上であった割合 (男性)

- 女性の労働参加
- 仕事と家庭の両立
- 高齢者の労働参加

●指標の説明

【定義・算出式】

- ・育児休業を終了した(復職した)者のうち、取得期間が5日以上であった者の割合
- (算出式)5日以上取得率 = $\frac{\text{取得期間が5日以上であった者}}{\text{育児休業を終了した(復職した)者}} \times 100(\%)$
- ※調査時点で育児休業期間中である者(終了・復職していない者)は算入されない。

【出典】

全国データ : 厚生労働省「雇用均等基本調査」(当該データが公表されるのは3年に1回)
 北海道データ: 経済部「労働福祉実態調査」(平成27年度から「就業環境実態調査」に名称変更)

●実績と目標設定

【①基準値】

令和4年度(2022年度) 5日以上取得率 80%

【②目標値】

目標年: 令和9年度(2027年度) 目標値: 5日以上取得率 **99%** 以上

<目標設定の考え方>

仕事と家庭の両立に係る指標として設定。

国の目標や国補助金の要件も参考に、育児休業を終了した(復職した)者のうち、取得期間が5日以上であった者の割合が、2027年に99%となることを目指し、目標値を設定。

(参考) 現行計画における状況

次期計画からの新規指標

●データ

(単位: %)

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
北海道											80.0
全国	58.7			42.9			63.6			74.8	

基準値

